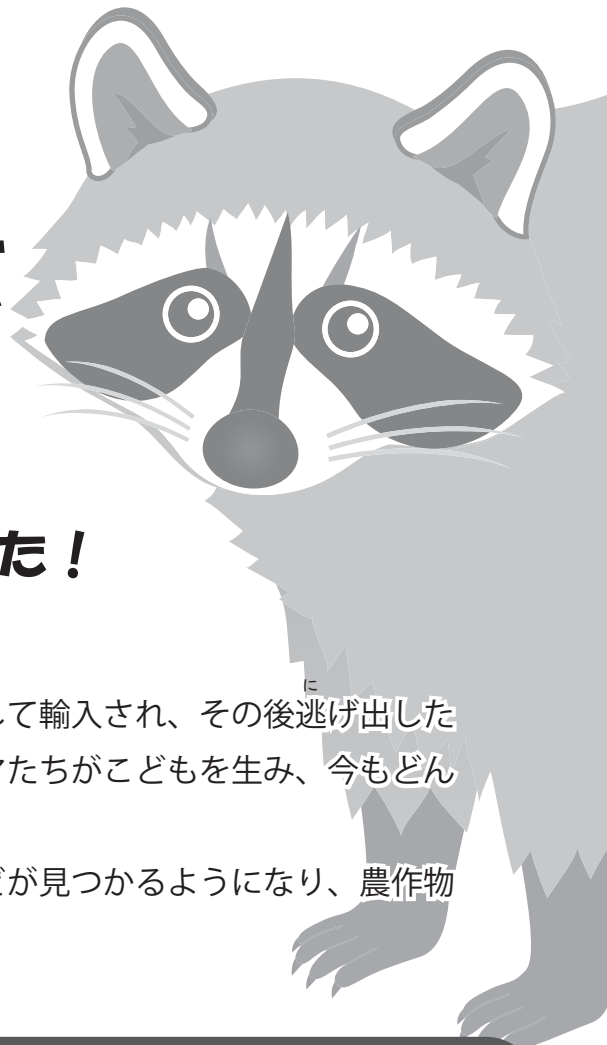


## 特定外来生物の

# アライグマって どんな動物？



## アメリカからペットとしてやってきた！

アライグマは元々日本にはいませんでした。

日本にいる野生のアライグマは、アメリカからペットとして輸入され、その後逃げ出したり捨てられたりして野生になったものです。そのアライグマたちが子どもを生み、今もどんどんと増え続けています。

そのため、今では全国各地でアライグマの姿や足あとなどが見つかるようになり、農作物を荒らす被害も増えてしまいました。

## アライグマの特徴

頭から尻尾のつけ根までの長さ：41～60cm  
尻尾の長さ：20～41cm  
体重：4～10kg

耳が大きく、  
白い縁どり  
がある。

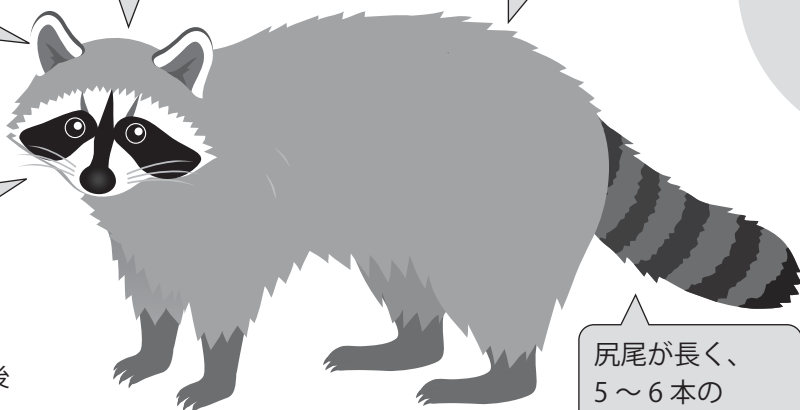
顔つきはタヌキや  
アナグマに似ている。

体の色は灰色に近く、  
タヌキよりも白っぽい。

鼻すじに  
黒い線が  
ある。



足あとは、人間の子どもと似ている。



尻尾が長く、  
5～6本の  
しま模様がある。

## 似ている動物たち タヌキ



タヌキの尻尾には  
模様がない。

## アナグマ



アナグマは尻尾が短く  
ずんぐりとした体形を  
している。

見分けられるかな？

## どんなところに住んでいるの？

森林の水辺を好み、田んぼや畑、市街地の周辺に出没します。特にため池に水が流れ込むような所、林の中の湿地や溪流などで多く目撃されています。夜行性で昼間は暗い所に隠れています。

## 何を食べてるの？

雑食性でエビ・カニ・魚・カエル・サンショウウオ・ヤゴなどの水中の生物、トカゲ・ネズミ・鳥のヒナや卵・バッタなどの陸上の生物、ミカン・スイカ・カキなどの果実や種子、家畜のえさ、残飯など何でも食べます。

# 特定外来生物って何？

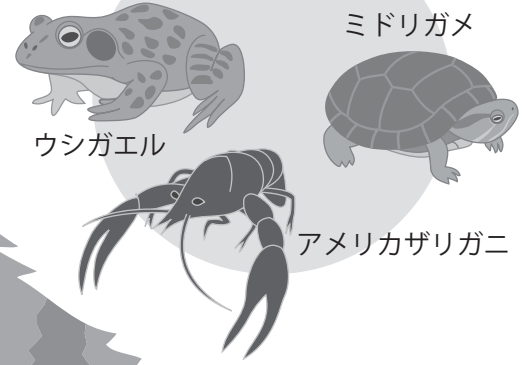
もともとその場所にいなかったのに、人間によって持ち込まれてしまった生物のことを「外来生物」といいます。

「外来生物」の中には、もともといた生き物を食べてしまったり、畑を荒らしてしまったりする生物がいます。「外来生物法」では、そのような問題を起こす生物を「特定外来生物」に指定し、飼育・栽培する、生きたまま運ぶ、海外から輸入するといった行為を禁止しています。「アライグマ」も特定外来生物です。

もっと詳しく知りたい人は下記 URL まで！

<http://www.env.go.jp/nature/intro/>

## こんな動物も外来生物

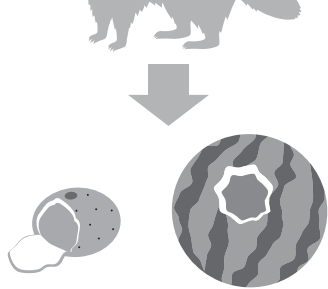


# なぜ特定外来生物になってしまったの？

野生化したアライグマは、農作物や家畜の飼料を食べたり、一般の家庭や神社などに入りこみ、ゴミを荒らしたり、天井裏に住みついて建物を壊したり、糞や尿で汚したりして、私たちの生活にいろんな被害をおよぼします。

また、海外からやってきたアライグマは、日本に元々いた野生動物たちにも様々な影響をおよぼしていて、生態系への被害も心配されています。

## 農作物への被害



ミカンは皮をむき、スイカは穴を開けて中身だけを食べるのがアライグマの食べ方の特徴です。

## 生活への被害

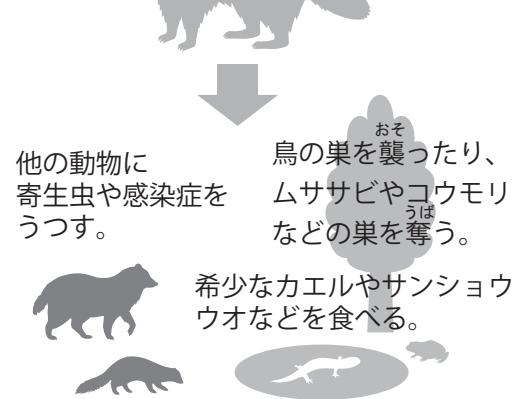


人に感染症をうつすこともあります。

家屋に侵入

ゴミを荒らす

## 生態系への被害



他の動物に寄生虫や感染症をうつす。

鳥の巣を襲ったり、ムササビやコウモリなどの巣を奪う。

希少なカエルやサンショウウオなどを食べる。

# 覚えておいてほしいこと

日本にいるアライグマは、もともとは家庭で飼われていたペットでした。

可愛いからと簡単に飼い、手に負えなくなったらまるでおもちゃのように動物を捨ててしまう。

そんな無責任な行為が原因で、アライグマは日本で野生化して増えてしまいました。

犬や猫にかぎらず、ペットは私たちと同じ命のある生き物・・・そして家族です。

家族の一員として迎えたら、ペットが一生を終えるその時まで、責任をもって一緒に暮らしてあげてください。とても当たり前のことですが、一番大切なことです。

